

個人発表の募集要項 大会参加費支払期限・申込締切：5月10日

1. 発表形式

対面発表： 対面形式で行います。オンライン配信はありません。発表時間は15分、質問時間は5分です。

録画発表： 発表動画時間は15分です。質疑応答はSlack（オンラインのコミュニケーションツール）上で行います。録画発表部会の申込にあたっては、この募集要項末尾の「録画発表部会の設置と実施のご案内」を必ずご確認ください。

2. 発表言語

日本語のほかに英語も認めます。英語による発表の質疑応答は、英語・日本語どちらでも可とします。

英語による発表が採択された場合、プログラムには、英語で、タイトル・氏名・所属を記載します。英語が母語でない人が、英語発表に申し込む際は、本人の責任で、ネイティブチェックを受けてください。

3. 申込資格 以下の本学会員に限ります。

- ・名誉会員
- ・2024年4月30日時点で、2023年度の会費を納入済みの維持会員、普通会员
- ・2024年4月の理事会で入会を承認された普通会员で、5月10日までに会費を納入された方

4. 申込方法 5月10日までに「発表申込フォーム」から、以下の手続きを行ってください。

- ① クレジットカードによるオンライン決済で、大会参加費4,000円の支払いを済ませたうえで、
- ② 申込区分にあるURL（日本語による個人発表、英語による個人発表）からお申し込みください。
- ③ 新たに設置される「録画発表部会」での個人発表を希望される場合は、①②の後、必ず所定のフォーム（https://bit.ly/jars83_rokuga_apply）に詳細情報をご登録ください。申込にあたっては、この募集要項の末尾の「録画発表部会の設置と実施のご案内」の内容をよくご確認ください。

【注意】

5月10日までに、大会参加費のお支払いがなかった発表申込は受理しません。

5月10日を過ぎてからの発表申込や内容の変更には応じられません。

発表日時の希望には応じられません。

5. 発表題目 以下の規定にしたがって記入してください。

日本語による発表

- ・全角30字以内。欧文以外は、全角で入力し、1字と数える。
- ・副題がある場合は、副題の前後に、全角のダッシュ（—）を付ける。ダッシュを含めて30字以内。
- ・欧文のみ半角で入力し、2字を1字と数える（スペースを含む）。
- ・ギリシャ語、サンスクリット語等はローマ字化する。
- ・同一題目で、(1)、(2)、(再)、(続)といった継続番号を打つ題目は認めない。

英語による発表

- ・サブタイトルを含めて、12 words 以内。
- ・サブタイトルがある場合は、タイトルの後ろに、半角のコロン（:）とスペースを入れる。
- ・ギリシャ語、サンスクリット語等はローマ字化する。
- ・同一タイトルで、継続番号を打つタイトルは認めない。

6. 発表テーマ・分野

関係するものを、①～⑮の中から、優先順位をつけて2つ選んでください。

①～⑮は部会名称ではありません。あくまで、プログラムを組む際に参考とするものです。

①キリスト教	⑥その他の宗教	⑪ジェンダー・教育・社会問題
②ユダヤ教・イスラーム	⑦宗教理論・宗教学説史	⑫アジア（日本を含む）
③仏教	⑧宗教哲学	⑬欧米
④神道・日本思想	⑨宗教社会学・宗教人類学・民俗学	⑭その他の地域
⑤近現代宗教・新宗教	⑩医療・科学・心理学	⑮上記以外

7. 発表内容 以下の規定にしたがって記入してください。

- ・日本語による発表は 100 字以上、150 字以内。
- ・英語による発表は 75 words 以上、100 words 以内。
- ・プログラムを組む際の参考資料となるように記してください。
- ・プログラム、大会ホームページで公開するためのものではありません。

8. パソコン用プロジェクターの使用（対面発表部会）

使用する場合は、以下の「使用に関するご注意」をお読みください。

9. 審査結果の報告

理事会で採否を決定し、不採用になった方にのみ、7 月上旬に、その旨を通知し、参加のみの申込に変更するか、大会への参加を取りやめるかの確認をとったうえで、大会への参加を取りやめる場合は大会参加費を返金します。7 月 10 日までに通知がない場合は、採用されたこととなります。

10. 『宗教研究』（別冊）に掲載する要旨について

- ・日本語による発表者は、日本語で提出してください。
 - ・英語による発表者は、日本語または英語で提出してください（日本語で提出した場合もタイトル・氏名は英語）。
- 別冊用要旨の提出締切日、提出方法等は、7 月に公開するプログラムに記します。

日本宗教学会 理事会

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意（対面発表部会）

会場となる教室にはプロジェクター類が設置されています。使用する方は、以下の注意を熟読してください。

発表会場に設置されているパソコンは、学内関係者以外は使用できません。プロジェクター類を使用する場合は、必ず、各自でパソコン等を持参してください。持参されない場合、プロジェクター類の使用はできませんので、ご注意ください。

発表会場で使用するプロジェクター類は、HDMI のみに対応しています（プロジェクター類からは下図のようなケーブルが出ていますので、持参したパソコン等に差し込んで使用してください）。これ以外の接続方式や端子（VGA、DVI、USB、Lightning など）には対応していません。また、会場には HDMI への変換アダプター等の用意もありません。変換アダプター等は必要に応じて各自ご持参ください。

なお、会場スタッフは接続等に関してサポートすることができません。あらかじめご了承ください。



第 83 回学術大会実行委員会

録画発表部会の設置と実施のご案内

本学会では今大会より、新たにオンラインによる録画発表部会を設けます。コロナ禍の経験を経て、研究者が集い直接語り合う場の重要性が再確認されましたが、同時に、オンラインにより距離や時間を超える利便性や意義も認識されました。本学会では、さまざまな条件とライフステージのもとにある会員の学会参加の可能性を広げるために、個人発表を対象に、オンラインによる録画発表部会を試行的に導入することにしました。

・録画発表部会設置の趣旨

- 対面参加を困難にする事情*がある場合にも発表と討議を行う機会を会員に提供する。
*「対面参加を困難にする事情」とは、健康や心身に関わる事情（例：病気、障がい）、家庭の事情（例：育児、介護）、居住場所の事情（例：遠隔地居住、留学、海外出張）、経済的事情 等を指す。

・録画発表形式の利点

- 同時双方向のオンライン形式に比べ、接続上のリスクが低い（ネットワークや機材の事情で接続が中断して発表ができなくなるおそれがない）。
- ハイブリッド形式に比べ、準備・運営・予算の負担が大幅に軽減される。

【日程】

- 9月13日（金）9:00 発表動画公開、資料掲示と質疑応答のための Slack 公開
9月22日（日）21:00 すべて（発表動画と Slack）の公開終了

【発表申込】5月10日までに「発表申込フォーム」から、以下の手続きを行ってください。

- ① クレジットカードによるオンライン決済で、大会参加費 4,000 円の支払いを済ませたうえで、
- ② 申込区分にある URL（日本語による個人発表、英語による個人発表）から申し込み、
- ③ 所定のフォーム (https://bit.ly/jars83_rokuga_apply) に録画発表の希望についてご登録ください。「対面発表は不可」か「対面発表でも可」かをお選びいただき、また、録画発表を希望される理由もお尋ねします。

【審査と選抜について】

- ・対面発表と同様、プログラム委員会による審査・選抜を行います。
- ・上記の③「録画発表の希望」の登録時に、「録画希望で、対面発表は不可」を選んだ方は、録画発表の選抜から外れた場合、対面発表での審査への切り替えは行いません。「録画希望だが、対面発表でも可」を選んだ方は、録画発表の選抜から外れた場合、自動的に対面発表希望としての審査に切り替わります。
- ・今年度の録画発表部会では発表上限数を 100 とします。録画発表部会設置の趣旨により、対面参加が難しいご事情のある方を優先します。申込が上限数を超えた場合は、「録画発表希望で、対面発表は不可」で、「対面参加が難しいご事情がある」方を優先し、その上で、発表内容による審査を行った後、抽選で選抜を行います。審査または抽選により不採用になった方の手続きについては本要項の「9.」をご参照ください。

【全体の流れ】

4月～8月	申込、審査、プログラムの確定・公開等	・対面発表部会と一緒に進行します
9月6日（金）	動画 URL の集約 Slack 導入のご案内	・発表者は発表動画の URL を提出 ・発表者、参加者とも、質疑・討議用の Slack のワークスペースの招待を受けて導入
9月12日（木）	Slack 準備完了	・発表者は Slack の該当チャンネルに配付資料をアップ
9月13日（金） （対面発表部会初日）	録画発表部会開始	・参加申込者に発表動画の URL を送信 （対面発表部会当日参加者には紙面で録画発表部会参加情報を共有） → 動画を視聴し、Slack 上で質疑と討議
9月22日（日） （対面発表部会終了の翌週の日曜日）	録画発表部会終了	・動画公開終了 ・Slack のワークスペース終了

【録画発表部会の準備と展開のイメージ】

[1] Zoomなどで自分の発表を録画する



[2] 録画ファイルをYouTubeにアップ



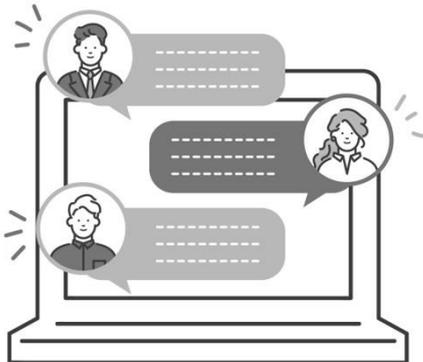
[3] 9月6日までにGoogleフォームを使って学会にリンクを送る



[4] 録画公開期間中はURL一覧から聞きたい発表を選んで視聴



[5] 質疑応答はSlackで録画公開期間中ならいつでも



【発表方法】

●発表動画について

- 9月6日（木）24:00 までに、15 分内の発表動画を YouTube にアップロードし、その URL を以下のフォームからお知らせください。 https://bit.ly/jars83_rokuga_url
- 9月22日（日）21:00 で録画発表部会は終了します。この時間を過ぎたら、動画公開を終了してください。なお、個人的に公開を継続されることは問題ありません。
 - * 発表者のご本人確認のため、少なくとも冒頭では、お顔を出してご発表ください。難しいご事情がある場合は担当者（jars2024videoposting@gmail.com）にご相談ください。
 - * 動画ファイルを直接お預かりすることはせず、URL のみをお預かりし、参加者に伝えます。
 - * 会期前には動画の URL を含まない発表プログラムを公開し、9月13日に参加申込者が URL を閲覧できるようにします。
 - * 本学会から参加者に、発表動画のダウンロードやリンクの転送・公開は絶対しないよう呼びかけますが、保守管理はできません。各自、URL を知らない人には検索できない設定や、ダウンロードができない設定などで、適宜ご対応ください。
 - * 発表者には、YouTube の詳しい利用方法を8月12日（月）までにご案内します。

●発表資料と質疑応答について

- **Slack を利用：** 質疑応答や、動画以外の資料がある場合の配付は、オンラインのチームコミュニケーションツールの「Slack」（以下を参照。 <https://slack.com/intl/ja-jp/>）上で行います。部会の「ワークスペース」の中に、4 発表程度で 1 グループの「チャンネル」が複数並ぶかたちになります。発表者と参加者には、そこに書き込みすることでやりとりしていただきます。
- **Slack の招待と導入・登録：** 発表申込者・参加申込者には、事前に Slack のワークスペースの招待メールが届きます。その招待に応じて、アプリをダウンロードし、ワークスペースにご参加ください。このアプリはパソコンの他、スマートフォンやタブレットでも並行してご利用いただけます。
- **Slack の使用法：** Slack は、ある程度直感的に操作できるようデザインされていますが、詳しくは以下をご覧ください。 <https://slack.com/intl/ja-jp/help/categories/200111606>
Slack の利用方法は招待時にあらためてご案内します。
- **報告資料配付：** 発表者は、9月12日（木）17:00 までに、ご自分の参加グループのチャンネルに参加し、配布資料のある方は発表資料をアップしてください。配付されない方も、テストをかねて、その旨を書き込んでください。
 - * 主催者からは、配付資料の引用・再利用等の扱いについては特に指定しません。資料配付をされる方は、各自、資料上や Slack 上に適宜表示することでご対応ください。
- **質疑応答：** 9月13日（金）9:00 から9月22日（日）21:00 までが録画発表部会の開催期間です。この間に、Slack 上で適宜質疑応答をしてください。

発表者は質問、コメントに適宜ご返答ください。特に発表者同士の議論はぜひ行ってください。4 発表程度で 1 グループとし、お一人にファシリテーター役を依頼します。議論が膠着したりやりとりが行き違ったりした時に、中心になって適宜ご調整をお願いします。

なお、質問やコメントが多い場合、必ずしも全てに回答する必要はありません。可能な範囲で応答、議論してください。

新たな質問の書き込みの締切は9月21日（土）17:00 としますので、発表者は必ずそれ以降にも一度は、ご自身に質問やコメントが来ていないか確認してください。
- **終了：** 9月22日（日）21:00 を過ぎますと、このワークスペースは閉鎖します。ご自身の発表に関するやりとりなどを保存したい方は、適宜コピーして保存するなどしてください。なお、Slack 上のやりとりは、対面発表部会での質疑と同じ扱いになりますことにご留意ください。